令和８年度

湧別町の社会教育

- 推進計画の概要 -

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる



R8.1.25【シルクスクリーンワークショップ】



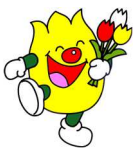
R7.9.13【ゆうべつアクティブチャレンジ2025 モルック大会】



R7.11.7【半崎美子さん 地球へ～特別授業～】



R7.12.21【e-スポーツ・プログラミング体験】



湧別町教育委員会



はじめに

現在、人口減少や少子高齢化の進行、情報通信技術やグローバル化の進展などにより、人々の価値観や生活様式、ワークスタイルが大きく変化しております。

このような社会の変化が激しい時代において、夢や希望を持ち、様々な困難を乗り越え、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の実現に向け、町民自ら担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要です。

湧別町の社会教育にあっては、町民一人ひとりが生涯にわたり、心の豊かさや健康で生きがいを持って生活するために、あらゆる機会、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会の実現に努めています。

こうした状況の中、令和５年度から令和９年までの５年間を計画とする「第３次湧別町社会教育中期計画」を社会教育委員、図書館協議会委員、スポーツ推進委員のご尽力により策定しております。

この計画は、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした家庭教育をはじめ、少年教育から高齢者教育といった「ライフステージ」の領域と、芸術・文化、図書館、博物館、スポーツ活動などの各分野にわたり、それぞれの現状と課題を明らかにし、その上で必要な学習機会の提供など、本町の社会教育推進のための指針を示すものであります。

実行４年目となる本年度につきましては、計画の具現化に向けて施策の企画や実施、充実に努め、関係機関をはじめ町民の皆さんが地域で相互に学びあうことにより、豊かな人間性を育み、その力を地域で発揮できるよう、それぞれの分野における取り組みを進めてまいります。

令和８年５月

湧別町教育委員会教育長　阿　部　　勉

湧別町社会教育の重点

湧別町の社会教育目標（平成２５年３月策定）

自ら学び、地域にいかせる人を支える

他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

湧別町社会教育５ヶ年のテーマ（令和５年度～令和９年度）

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

令和８年度
湧別町社会教育推進計画

家庭教育・・・・・・・・・・・・・・　１

少年教育・・・・・・・・・・・・・・　２

青年教育・・・・・・・・・・・・・・　３

成人教育・・・・・・・・・・・・・・　４

高齢者教育・・・・・・・・・・・・・　５

芸術・文化活動と文化施設整備・・・　６

図書館活動・・・・・・・・・・・・・　７

文化財保護活動・博物館活動・・・・　８

スポーツ活動とスポーツ施設整備・・　９

生涯学習の基盤整備と

社会教育施設整備・・・・・１０

令和８年度社会教育事業計画・・・　１１

資料・・・・・・・・・・・・・・・・２０

家庭教育

＜推進目標＞
子どもは町の宝
手を取り合い支え合って育てよう

現状と課題

◆家庭教育は全ての教育の原点であり、出発点でもあります。子どもにとって「家庭」は、家族から愛され、かけがえのない存在であることを実感し「生きる力」を養う場であるとともに、社会生活での必要なマナー等を身につける場でもあります。

◇家庭教育支援の大切さを地域全体で理解するために、広く周知する必要があります。また、保護者同士の交流を図る機会を創出、異世代の方々が地域で話せる場を創設する必要があります。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・家庭教育への理解を深める研修事業を充実する。 ・家庭教育を担う保護者が必要とする情報を発信する（情報誌やインターネットなど各種メディアの活用）。 ・家庭教育事業の実施場所を対象者の集う場所にあわせて設定する方法を検討する。
活動等の支援	・子育てサークル等の育成と支援を充実する。
学習環境づくり	・子育ての悩みや喜びをわかちあえる気軽に集う場を提供する。
連携・ネットワーク	・子どもの育ちを支えるネットワークを構築する。 ・家庭教育を担う保護者の発言が共有できる機会を充実する。 ・子育て支援センターや図書館など、各種関係機関・団体との協力体制をつくり、連携を図る。

少年教育

＜推進目標＞
少年は町の未来
夢に向かって力をつけよう

現状と課題

◆オンラインの普及により、友達同士で外に遊びに行く機会は減少しており、顔を合わせてのコミュニケーションが希薄になっています。

◇自然体験や異世代間交流、仲間づくり等のさまざまな体験活動の提供を求められています。また、次世代を担うリーダー、指導者の養成のため、義務教育学校から高校・青年・地域まで連携した事業の展開が必要です。さらに、少年教育の受け皿としての地域団体の支援・育成が必要です。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・地域の特性を生かした数多くの体験活動の機会を提供し、豊かな人間性の養成を図る。 ・年に一度は町内の子ども全員を対象とした学習機会を提供し、事業の充実を図る。
活動等の支援	・子ども会や青少年指導センターを支援する。 ・異世代や異年齢との交流機会の拡充により、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域教育力の向上を図る。
学習環境づくり	・義務教育学校児童・生徒のリーダー養成と活用を図る。 ・地域の成人指導者の活用を図る。 ・義務教育学校児童・生徒～高校生～青年が連携できるよう、青年層からボランティアを積極的に受け入れ、次世代につながる指導者の養成を図る。
連携・ネットワーク	・より学習効果が得られるよう学校と社会教育が連携・融合した事業を推進する。 ・児童センターをはじめ関係機関との連携を図る。 ・学校の求めに応じ、コミュニティスクールに社会教育が積極的に参加協力を行う。 ・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する地域学校協働活動を推進する。

青年教育

＜推進目標＞
青年は町の原動力
自らを磨き高めよう

現状と課題

◆情報通信技術や SNS の進展によって、人や社会との関わり方の意識が変化してきており、ニーズにあった学習機会の提供が必要です。また、各青年部や青年組織と連携を図りながら、異業種の若者が地域行事やイベントなどを通して活発に交流できる機会の提供が求められています。

◇青年が地域社会で活躍する機会や、青年同士が交流する機会の提供が必要です。また、青年活動に積極的に関わる人材の発掘・育成が必要です。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・若者世代の生活課題の解決につながるような学習機会を提供する。 ・20 歳の集いを開催し、社会人としての意識の高揚を図る。 ・高校生の社会参加活動を奨励・支援する。
活動等の支援	・青年団体協議会が行う自主活動を支援し、広く周知に努める。
学習環境づくり	・若い女性の社会参加を図る。 ・団体リーダーの養成と活用を図る。 ・地域活動への参加に向けて、青年が活躍できる場を提供する。
連携・ネットワーク	・各青年組織や異業種青年同士の交流を奨励し、連携・ネットワーク化を促進する。

成人教育

＜推進目標＞
成人は町の大黒柱
すすんで地域に関わろう

現状と課題

◆成人期は、職場や家庭、地域において、中心的な役割を担い社会に貢献することを期待されている時期ですが、毎日が忙しく参加の意欲がありながら難しい状況にあります。世代を束ねるリーダーとなるよう積極的に地域と関わることが求められています。

◇時間的余裕のない成人期のニーズに応えられるよう、情報提供も含め参加し活躍する場を創出する必要があります。また、湧別町の歴史、産業、自然等を学ぶ機会と次世代へ伝える講師の充実を図る必要があります。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・幅広い学習ニーズに応える学習機会の提供と学習意欲を喚起する。 ・既存事業（町民大学等）の魅力を広く伝える。 ・地域に関する学習機会を提供する。
活動等の支援	・社会教育各種団体等へ支援を図る。 ・お互いの仕事や暮らしぶりを知り、地域を知ることにつながる学習活動を支援する。 ・自主的に企画し実践するサークルなどの活動支援を充実する。
学習環境づくり	・行政と町民の協働事業を推進する。 ・参加者に開会日時や託児サービスなどを配慮した事業を行う。 ・気軽に参加し、すすんで活動できるよう情報の提供に努める。
連携・ネットワーク	・各種団体間の交流を促進する。 ・関係機関との連携を図る。

高齢者教育

＜推進目標＞
高齢者は町の知恵袋
豊かな経験を地域で生かそう

現状と課題

◆湧別町の６５歳以上の人口は、全体の約４０％（令和８年３月末）を占めており、地域の教育力を高めるため、まちづくりにおける高齢者の果たすべき役割はより大きくなっています。また、アクティブシニアと呼ばれる方々は、新たな学びを求める傾向があります。

◇高齢者が持つ知識や経験、技能を地域や次世代に伝える機会を提供し、生きがいを持てるようにする必要があります。６０歳代の方たちに活躍の場を提供する必要があります。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・高齢者の興味関心を呼び起こす事業を充実する。 ・知識や知恵をもった高齢者から学ぶ機会を拡充する。 ・ふるさとを伝える機会を充実する。
活動等の支援	・チューリップ生きがい大学の参加者による自主活動の促進と充実を図る。 ・次の世代に伝承する異世代間交流事業を充実する。
学習環境づくり	・知識や知恵を持つ高齢者を把握し、生かすようコーディネートを充実する。 ・長寿社会を生きるそれぞれの年齢に応じた学習ニーズを把握し、次世代に豊かな経験を伝える機会を充実する。 ・少人数でも気軽に参加しやすい環境づくりに努める。
連携・ネットワーク	・チューリップ生きがい大学と他団体との連携を図る。 ・高齢者の豊かな経験を生かすために関係機関との連携を図る。

芸術・文化活動と文化施設整備

＜推進目標＞
芸術･文化は未来を生きるヒント
創造力と豊かな心を育てよう

現状と課題

◆心の糧となる芸術・文化活動は、大人はもとより、これからを担う青少年の創造的な能力を伸ばす為にも、大きな役割を果たすものとして充実が望まれています。

◇鑑賞と創造が両輪となった芸術文化活動を推進するためには、文化センターの計画的な施設整備に努め、芸術文化にふれる機会を提供することが重要です。

推進項目	課題解決の方策
学習機会の提供	・町民ニーズを踏まえた上で、芸術性に溢れた公演作品や、心の栄養となる娯楽性に富んだ舞台鑑賞機会の提供に努めます。 ・青少年が優れた芸術文化に触れる機会を提供します。 ・カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、新たな芸術・文化活動を始めるきっかけづくりに努めます。
活動等の支援	・文化連盟を始め、各種文化団体の自主的な活動を支援します。 ・芸術文化奨励事業補助制度の活用促進に努めます。 ・学習の成果を生かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用に努めます。
学習環境づくり	・芸術・文化事業の情報提供に努めます。 ・さざ波・ＴＯＭ両文化センターの特徴を生かかした有効活用に努めます。 ・文化センターの計画的な設備の更新に努めます。
連携・ネットワーク	・北海道や北海道文化財団のほか、他の市町村・文化ホールとの連携を図ります。 ・文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興に努めます。

図書館活動

＜推進目標＞
図書館は町民の憩いの場
みんなで学び楽しもう

現状と課題

◆本町では中湧別図書館、湧別図書館の２つの図書館と1台の移動図書館車を運用しています。両館が収蔵する図書館資料数は15万冊にのぼり、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の町民の利用に対応するため常に新鮮な図書館資料の維持に努めています。

◇今日においてはインターネットですぐに情報を入手できますが、多様な情報が混在し、求めている正しい情報を入手することが難しいという側面があります。そこで、図書館は信頼性の高い書籍を保存し、図書館司書の専門性を生かした読書活動へのアドバイスを行い、的確な資料や情報を提供していくことが求められています。

推進項目	課題解決の方策
図書館資料の収集、整理、保存	・町民の読書傾向を踏まえ、新鮮な図書購入に努めます。 ・両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し特徴づけた収集に努めます。 ・貴重資料のデジタル保存を推進します。
利用促進、読書機会の提供	・魅力的な展示に努めます。 ・図書館システムの更新を行い、図書館資料の適切な管理と利用者の利便性の向上に努めます。 ・インターネット等で図書館情報を発信します。 ・調べものの相談、案内を通じて利用促進を行います。 ・マイナンバーカード連携の啓発を行います。
連携・ネットワーク	・「子どもの読書活動推進計画」により、子どもたちの読書環境を整備します。 ・学校図書館を支援します。 ・広域サービスを行います。 ・図書館ボランティアとの連携強化に努めます。 ・ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。

文化財保護活動
博物館活動

＜推進目標＞
文化財は町のキセキ　歴史を訪ねて未来へつなげよう

現状と課題

◆文化財は 57 か所の埋蔵文化財包蔵地と 2 件の北海道指定史跡・天然記念物があり、それらを適切に後世に伝えられるよう保護活動を行っています。博物館については考古資料や動物標本を中心に湧別地区のあゆみを展示している「郷土館」と、屯田関連資料を中心とする上湧別地区のあゆみを展示した「ふるさと館ＪＲＹ」の 2 館があり、資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動を行っています。

◇文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と博物館資料の保存です。文化財保護はいかに開発行為による影響を最小限にするのか、博物館資料はいかに安定的に保存・管理していくかが課題です。その環境整備のためには、文化財等の付加価値を高めるための調査研究とその成果を公開する展示や教育普及活動が重要です。町民をはじめとする多くの方々に、地域の文化財や博物館資料の存在意義と重要性を周知し、それらに触れる機会をいかに継続して提供していくかが、今後の大きな課題となっています。

推進項目	課題解決の方策
文化財保護	・次世代へと繋ぐため、埋蔵文化財の保護と環境整備に努めます。 ・北海道指定史跡シブノツナイ竪穴住居跡の調査研究を継続的に進めます。 ・収蔵している石器や土器等の分類整理を進め、湧別地区の先史文化資料の活用を行います。
博物館資料の収集・調査研究・展示	・資料の整理分類を進めて、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。 ・調査研究の成果を展示・教育普及活動で活用します。 ・収蔵資料の整理を進めます（収蔵庫）。 ・先史の展示の充実に努めます（郷土館）。 ・子どもたちに理解しやすい展示を行います。 ・収蔵展示を行い展示資料の充実に努めます。
博物館教育普及	・文化財を知る機会の提供に努めます。 ・先史・開拓を知る体験学習の提供を進めます。 ・学校利用の促進に努めます。 ・出張学習の内容充実に努めます。 ・学芸員の専門性・教育力を高めるよう努めます。 ・広報を活用し活動の周知に努めます。

スポーツ活動とスポーツ施設整備

＜推進目標＞
明日の元気は、きょうのスポーツから
みんなで体を動かし楽しもう

現状と課題

◆町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、ニーズが多様化している一方、少子高齢化によるスポーツ団体の会員の減少や青少年の体力の低下、成人・高齢者の生活習慣病、学校運動部活動の地域展開など多くの課題を抱えているのが現状です。

◇誰もが体力や年齢に応じた運動習慣が形成されるよう、スポーツに親しむ機会提供と普及、施設の計画的な改修と適正な管理運営、体育協会やスポーツ少年団などと連携し、指導者の確保や担い手の育成と支援体制の充実に努める必要があります。

推進項目	課題解決の方策
生涯スポーツの普及	・ライフステージや習熟度に応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を定期的に提供し、健康や体力づくりの増進とスポーツを通じた町民相互の交流の推進に努めます。 ・日常的にスポーツや運動をしない方がその楽しさと効果を実感できるように、積極的な働きかけを行い、スポーツ文化の裾野を広げます。
活動等の支援	・体育協会やスポーツ少年団など関係団体の指導者の確保や担い手の育成と自主的な活動支援に努めます。 ・運動指導職員やスポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及のほか、体力に応じた運動メニューの提供を図り、町民の健康増進に貢献します。
学習環境づくり	・スポーツ団体の活動を広く紹介し、会員数の確保と活動意欲の向上を図ります。 ・著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。 ・部活動の地域展開を推進するため、義務教育学校後期課程生徒・高校生が地域でスポーツができる体制づくりを検討します。
連携・ネットワーク	・町民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正な管理運営に努めます。 ・保健福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。 ・体育協会やスポーツ少年団、自治会、学校、関係団体等の連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。 ・地域包括連携を締結しているレバンガ北海道と連携し、町民のスポーツ推進に努めます。

生涯学習の基盤整備と社会教育施設整備

＜推進目標＞
生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ
いつでも、どこでも、だれでも
参加し楽しもう

現状と課題

◆さまざまな学習活動がより効果的になるよう各関係機関・団体との連携・協力を図る必要があります。

◇生涯学習情報の収集・提供、相談体制の充実に努め、町民の自主活動に対する支援体制の整備が必要です。

推進項目	課題解決の方策
学習推進体制整備	・町民のさまざまな学習活動がより効果的になるよう関係機関や団体との連携強化に努めます。 ・総合的に生涯学習を推進するための体制整備に努めます。
施設整備・活用・連携	・町民のニーズを踏まえながら、利用しやすい施設の整備・機能充実や効果的な管理運営に努めます。 ・施設間の連携やネットワーク化により、学習サービスの向上に努めます。
学習情報の収集提供・相談体制の充実	・町民の学習活動を支援するため、生涯学習情報の収集・提供に努めます。 ・多様化する学習ニーズに応じ、町民の学習活動が円滑に行われるよう相談体制の充実に努めます。
指導者の養成・活用 **団体活動支援**	・町民の多種多様な学習ニーズに対応するため、さまざまな分野から指導者を発掘、養成し、人材の活用に努めます。 ・生涯学習振興奨励事業補助金活用により、サークル等が自主的に学習活動を行う支援に努めます。 ・ボランティアを育成するとともに、活動の支援に努めます。
連携・ネットワーク	・社会教育委員、スポーツ推進委員、図書館協議会委員、各団体、町各部局、地域、学校との連携強化とネットワーク化を図り、生涯学習活動の推進に努めます。 ・生涯学習に関する情報を収集、データベース化し、ガイドブック等の発行を検討します。

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
基盤整備	①生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年　間	―	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「もっと！!湧く湧く」の発行（2カ月に1回） ※R8年度より2か月分のお知らせ情報を中心に発行する。 ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（3カ月に1回） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。 ○インスタグラムによる事業周知 ・これまで事業実施のお知らせを中心に行っていたが、R8年度より事業報告についても周知する。	「湧く湧く」印刷製本費1,901千円	10-1 10-3
	②指導者の発掘・養成・活用	年　間	―	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	―	10-4
	③団体活動の支援・育成	年　間	―	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	―	
	④生涯学習振興奨励事業	年　間	―	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	
	⑤施設の整備・運営・連携	年　間	―	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画のとおり	10-2 10-5
家庭教育	①家庭教育研修会	11/29(日)	文化センターTOM	講演会や実習を通して参加者相互の交流を図る。参加者交流会を開催。託児等健康子ども課と必要に応じて連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛を依頼。	講師謝礼100千円 需用費８千円	1-1
	②健康こども課との事業協力	年　間	―	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子ども家庭センターとの協力体制の充実を図る。	―	1-3 1-4
	③家庭教育相談	年　間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	―	1-2
少年教育	①児童宿泊研修会	6/11(木) ～12(金)	ネイパル北見	社会性を培う機会として、全学園5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費103千円 （4,100円×1/2×50人） 需用費15千円 バス借上料154千円	2-1 2-4
	②子ども会の育成・援助	年　間	―	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円	2-2
	③第1回子ども会リーダー研修会	7/25（土） ～26（日）	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会リーダー研修会	R9.3/6(土) ～7(日)	紋別市生涯学習センター			
	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。義務教育学校（前期課程）～大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	2-1 2-3
	⑥第55回新春交歓カルタ大会	R9. 1/17(日)				
	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年　間 (月1回程度)	町内ほか	各学園4～6年生を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。 一泊二日でのJRYでのナイトミュージアムを予定。	報償費35千円 需用費40千円 手数料1千円 施設使用料1千円	2-1 2-2 2-4
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/5(水) ～7(金)	湧別町	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。各学園5～6年生およびリーダーとして各学園7～9年生・高校生も参加。各学園5～6年生は参加経費の半額、リーダー7～9年生は全額町負担。今年度は湧別町が受入。	報償費30千円 需用費150千円 損害保険料24千円 施設使用料380千円	

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
青年教育	①青年団体の育成・援助	年　間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和9年 20歳の集い	R9. 1/10(日)	文化センターさざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現学園6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費437千円 需用費84千円	3-1
成人教育	①第50回 湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	補助金 2,500千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	②ＰＴＡ団体への援助	年　間	―	各学校のＰＴＡやその連合組織である町ＰＴＡ連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	4-2 4-4
	③ボランティア団体との連携	年　間	文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	―	
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年　間 (月1回程度)	文化センターさざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費243千円 需用費36千円 印刷製本費77千円 借上料255千円 施設使用料3千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	②アクティブシニア向け事業	年　間	文化センターさざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがい大学の繋がり強化を図る。	報償費192千円	
	③世代間交流事業・社会活動参加奨励	年　間	学校ほか	学校からの求めに応じ、義務教育学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	―	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随　時	道内 管内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 管内社会教育委員連絡協議会総会　管内 北海道市町村社会教育委員長等研修会　札幌市 遠軽・紋別地区社会教育委員研修会　西興部村 管内社会教育振興セミナー　大空町 北海道社会教育研究大会　稚内市 生涯学習実践活動交流セミナー　札幌市	社会教育委員 報酬141千円 費用弁償165千円	10-5
芸術・文化活動の振興	①文化団体の育成援助	年　間	―	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年　間	文化センターTOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会、ゆうべつ活性化実行委員会等の活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
	③キッズアート鑑賞会	7/23(木) 10:00	文化センターさざ波	幼児対象 公演内容　きりがみマジックコンサート	公演料 500千円	6-1
	④ジュニアート鑑賞会	9/4(金) 10:00	文化センターさざ波	前期課程全学年対象 公演内容　劇団ポプラ「アラジン」	公演料 880千円	
	⑤ティーンズアート鑑賞会	9/25(金) 10:00	文化センターさざ波	後期課程全学年対象 公演内容　トランク機械シアター「正しい部費の集め方」	公演料 647千円	
	⑥文化芸術作品展示会等の奨励	年　間	文化センターTOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	―	6-2 6-3 6-4
	⑦カルチャー教室	年　間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
大会の開催等	①第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/28(日)	湧別総合体育館裏	100ｋｍスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上）	負担金 3,000千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2026」	10/10(土) ～11(日)	湧別総合体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,875千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,175千円 歳出総額 3,383千円	
スポーツ教室・講習会事業	①夏の短期水泳初級教室	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田 千秋　（トッカリ湧波会） 　　小橋 百合香（スポーツ推進委員） 対象：各学園１～４年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	②ニュースポーツdeあそぼ 「モルック大会」	9月	中湧別ゲートボール場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対　象：町内に在住の方	スポーツ推進委員 報酬32千円	
	③ジュニアスケート教室	R9. 1/6(水) ～8(金)	芭露スケートリンク	町内の各学園（1～6年生）に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保 拓也（芭露） 　　松本 桃子（スポーツ推進委員） 　　藤本 祐司（教委職員） 　　三浦 茉畝（教委職員） 対象：各学園１～６年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	④運動・トレーニング指導 「ゆうふぃっと。」	4月～3月	湧別総合体育館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。令和7年度より「ゆうふぃっと。」と事業名を定め、町民への認知度を深めるとともに参加者の増加に務める。また、「ゆうふぃっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。 ■ゆうふぃっと。 ・開催回数：月3回 ・講　　師：教委職員 ■ゆうふぃっと。プラス ・開催回数：隔月1回 ・講　　師：外部委託 ■ゆうふぃっと。アクア ・開催回数：2回 ・講　　師：外部委託 ■ゆうふぃっと。ヨガ ・開催回数：4回 ・講　　師：外部委託	講師謝礼 70千円 委託料 293千円	
	⑤湧別町・レバンガ北海道スポーツ推進事業	4月～3月	湧別総合体育館ほか	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 予定事業 ①ミニバス少年団、各学園・湧別高校バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 1,386千円	
スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	各学園（1～3年生）を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。**※事業内容は変更になる場合有** 5月　入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月　バルシューレ（湧別総合体育館） 7月　キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月　五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月　タグラグビー（湧別総合体育館） 11月　器械体操（湧別総合体育館） 12月　バスケットボール（湧別総合体育館） 2月　ボールゲーム（湧別総合体育館） 3月　ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対　象：各学園１～３年生	講師謝礼 器械体操 20千円 バルシューレ 30千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬240千円	9-1 9-2 9-3

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
スポーツ推進委員事業	②巡回スポーツ指導	随　時	町　内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随　時	管　内 道　内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会　紋別ブロック オホーツク管内社会体育振興セミナー　津別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会　札幌市	スポーツ進委員報酬218千円 費用弁償176千円	9-2
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年　間	－	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年　間	－	体育協会への補助	補助金702千円	
	③大会出場助成	年　間	－	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 （湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年　間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,067千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1
施設の整備活用	①施設の整備	年　間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年　間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償60千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随　時	－	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1
図書館活動	①図書館資料の収集、整理、保存	年　間	両　館	○町民の読書傾向を踏まえ、新鮮な図書購入を行う。 ○両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し特徴づけた収集を行う。 ○貴重資料のデジタル保存を推進する。	資料費 (図書、雑誌等) 8,040千円	7-1
	②利用促進、読書機会の提供	年　間	両　館	○魅力的な展示を行う。	－	
				○図書館システム機器の更新	図書館システム購入事業 備品譲渡割賦金 1,394千円	
				○インターネット等による情報発信を行う。	－	
				○調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。	－	
				○古本、古雑誌のリサイクル活動	－	
				○マイナンバーカード連携の啓発	－	
	③子どもの読書活動推進計画	令和５年度 ～ 令和10年度	両　館	○就学前児童読書推進プログラムを実施する。 ・ブックスタート事業（4か月児／健診会場） ・絵本くらぶ（0～5歳／宅配） ・読書オリエンテーション（5～6歳／就学時健診会場） ・ブックスタートプラス（5～6歳／就学時健診会場）	資料費 （絵本） 150千円	7-3
				○移動図書館車の運行 ・認定こども園、保育所、放課後児童クラブ ・義務教育学校３校、湧別高校	－	

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
図書館活動	④学校図書館支援	年　間	両　館	○クラス配本 ○学校図書館用図書の購入支援、新規購入図書の蔵書管理 ○図書館見学の受入 ○職場体験の受入 ○その他（学校図書館レイアウト相談等）	―	7-3
	⑤広域サービス	年　間	両　館	○移動図書館車の運行 ・機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 ○宅配貸出サービス ・来館が困難な町民に対して、個別に配送貸出を行う。	―	
	⑥連携・ネットワーク	年　間	両　館	○図書館ボランティアとの連携強化を行う。 「りんごっこ」 「リーディング倶楽部たんぽぽ」 「湧別高校ボランティア部」 ○ゆうべつ学園朝の読み聞かせ 「リーディング倶楽部たんぽぽ」 ○中湧別図書館読み聞かせ 「りんごっこ」 「湧別高校ボランティア部」 ○その他	―	
		年　間	両　館	○図書館間の連携 ・図書館ネットワークを活用した図書館間の連携を図る。	通信運搬費 93千円	
		会議3回 研修1回	湧別図書館	○図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修	報酬80千円 旅費18千円	
		7月～9月	両　館	○北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加	―	
文化財保護活動	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年　間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎川西シブノツナイ遺跡の史跡範囲変更 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催		8-1
	②文化財の保護(2) 自然関連	年　間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年　間	郷土館・ふるさと館 ＪＲＹ	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年　間	郷土館・ふるさと館 ＪＲＹ ・収蔵庫	○考古資料 ・川西シブノツナイ遺跡出土資料の整理 ・試掘調査等収集資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・古写真のデジタル化 ・資料外保管物の処分 ・資料移動（旧芭小体育館等） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		

令和8年度社会教育事業計画について

領域	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	③博物館資料(3) 展示	年　間	郷土館・ ふるさと館 ＪＲＹ	○郷土館 ・企画展：発掘調査速報展（仮） ○ふるさと館JRY ・常設展示更新：解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備		8-2
	④調査研究	年　間	―	【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】 ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘等調査支援（3年目） 対象遺跡：川西オホーツク遺跡		
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年　間	郷土館・ ふるさと館 ＪＲＹ	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 （道具の変遷や機能の紹介） ・労働体験（鋸・斧・鉈） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 ○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習 （土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク （主に学校授業、シブノツナイを対象） ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） ＊各種調査、報告書発行に伴う成果	講師謝礼 70千円	8-3
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年　間	―	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）		8-3

中期計画推進項目の欄は、第３次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第１節　家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第２節　少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節　生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和8年度　関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容　等
青少年指導センター	子ども会フットベースボール交流会	7/5（日）	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。
	子ども会リレー駅伝大会	10/4（日）	上湧別百年記念公園	
	子ども会交流ミニバレーボール大会	11/8（日）	中湧別総合体育館	
	第1回子ども会リーダー研修会	7/25（土） ～26（日）	五鹿山公園	社会教育事業　少年教育参照
	第2回子ども会リーダー研修会	R9.3/6（土） ～7（日）	紋別生涯学習センター	
	中高生リーダーの養成	年　間	町　内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年　間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰
文化連盟	総合文化祭	展示の部 10/3（土） ～4（日）	文化センター TOM(展示)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。
		芸能の部 10/18（日）	文化センター TOM(芸能)	
ゆうべつ活性化実行委員会	芸術鑑賞会	10月	文化センター さざ波	スターダスト★レビュー ～ア・カペラ＆アコースティック編～
良いもの見よう聞こう会		7月	文化センター さざ波	岩崎宏美・国府弘子 ピアノ･ソングス
		R9.3.13(土) 16:00～	文化センター さざ波	八神純子Live2026　キミの街へ

令和8年度　関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事　業　名	期　日	場　所	計　画　内　容　等
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2026	9/6(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。
スケート協会	第57回湧別町スケート大会	R9. 1/30（土）	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし他）
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2026	9/5（土） ～13（日）	町　内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。
	第41回湧別原野ｵﾎｰﾂｸﾛｽｶﾝﾄﾘｰｽｷｰ大会	R9. 2/28（日）	遠軽町→湧別町	原野コース80㎞、北大雪コース56㎞、遠軽コース22㎞、湧別コース24㎞、10kmコース、5㎞コース、駅伝コース95㎞
合宿団体	【新規】 レバンガ北海道U-15女子合宿	5/3（日） ～5/5（火）	中湧別総合体育館	チーム合宿の他、町内学園ﾊﾞｽｹ部を含む近隣チームとの練習試合を実施し交流を図る。 合宿予定人員：34名予定
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定

令和8年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施　設　名	改修・整備等内容	事業費	備　考
文化センターTOM	外壁（北側）改修工事	30,000	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事	42,000	
	空調機等自動制御盤点検業務	2,015	
	非常用放送設備工事	3,300	
湧別プール	プール底掃除機	1,100	
湧別町運動公園	運動公園グラウンド修繕	1,808	
	照明自動点灯盤（コイン式）取替修繕	980	
芭露パークゴルフ場	芭露パークゴルフ場芝修繕	2,590	
湧別図書館	消防設備修繕	2,719	
湧別図書館 中湧別図書館	図書館システム購入事業	1,394	備品譲渡割賦金 R7　27千円 R8　1,394千円 R9　1,377千円 R10 1,362千円 R11 1,348千円
ふるさと館JRY	JRY玄関タイル修繕	957	

社 会 教 育 委 員

任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日

役　職	氏　　名	職業・主な所属等	住　所	備考
委員長	深　谷　　聡	僧侶・町民芝居ゆうべつ	計呂地	
副委員長	山　本　重　幸	ｱｳﾄﾄﾞｱｸﾗﾌﾞ会員	錦町	
	平　野　寿　雄	農業・青少年指導センター	上湧別屯田市街地	
	杉　原　武　純	農業	旭	
	毛　利　美紀子	自営業	中湧別北町	
	工　藤　雄希峰	漁業・青少年指導センター	登栄床	
	中　條　尚　志	湧別高等学校長	中湧別南町	令和8年4月28日～
	菅　原　恵　介	元青年団体協議会・会社員	中湧別東町	
	橋　本　純　子	自営業	中湧別中町	
	田　渕　徹　平	自営業	北兵村二区	
	米　本　志　真	主婦	北兵村三区	
	柴　田　裕　次　郎	自営業・子ども会育成者	北兵村三区	
	神　尾　周　汰	団体職員	中湧別東町	
	早　川　大　介	上湧別学園校長	中湧別南町	令和7年4月28日～

図書館協議会委員

任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日

役　職	氏　　名	職業・主な所属等	住　所	備考
委員長	菊　地　京　子	学校支援員・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ倶楽部たんぽぽ	錦町	
副委員長	三　澤　祥　弘	生活相談員	中湧別東町	
	藤　井　清　美	商工会女性部	中湧別北町	
	菊　地　得　典	僧侶	上芭露	
	三　橋　裕　介	商工会	中湧別南町	
	早　川　大　介	上湧別学園校長	中湧別南町	令和7年4月28日～

スポーツ推進委員

任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日

役　職	氏　　名	職業・主な所属等	住　所	備考
委員長	石　川　克　己	団体職員	錦町	
副委員長	黒　田　志津保	団体職員	中湧別中町	
	小　橋　百合香	学校教員	中湧別南町	
	水　牧　一　郎	会社員	中湧別南町	
	白　田　ゆかり	団体職員	栄町	
	海　谷　政　貴	団体職員	中湧別北町	
	岸　下　彩　乃	学校教員	中湧別東町	
	遠　藤　真　愛	団体職員	東	
	松　本　桃　子	農業	芭露	
	藤　本　　竜	農業	東	
	今　野　愛　海	会社員	芭露	
	太　田　　愛	学校教員	中湧別南町	

○教育委員会社会教育関係職員

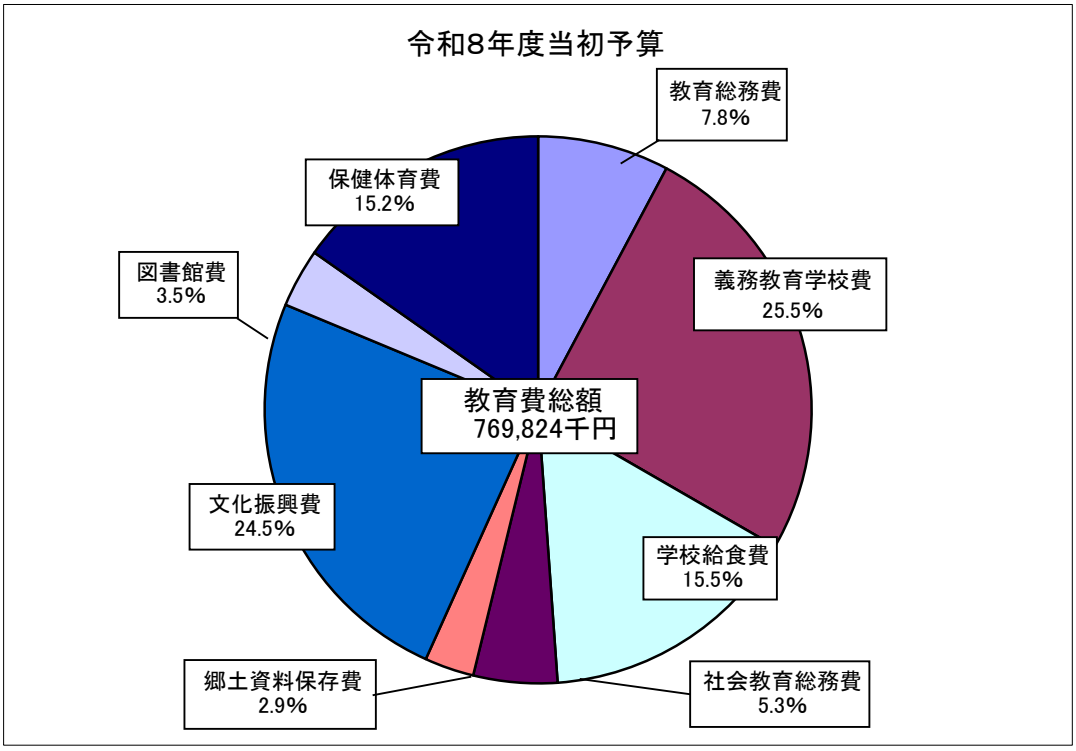
教　育　長
阿　部　　勉

課　長	課長補佐・主幹 (ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ)	主　査	主　任　等
斉藤 健悟 参事 藤本 祐司	社会教育G （藤本 祐司）	仁木 宏紀	主任 三浦 茉畝 柿崎 彩人 石塚 洋司 （教育アドバイザー）
参事 中島 一之	図書館 （中島 一之） （館長）	北村 公樹 （湧別図書館）	石垣 杏優 （中湧別図書館）
	ふるさと館JRY 郷土館 （中島 一之） （館長）	林　　勇介	

Gはグループ、（　）は兼務職員

教　育　予　算

一般会計当初予算　　10,707,000千円（前年度:　10,887,000千円）
　に対する
教育費割合　　7.19%（前年度:17.80%）
社会教育費割合　　3.68%（前年度:4.52%）



教育費
住民一人当たり　　100,055 円

社会教育費
住民一人当たり　　51,171 円

（R8.3月末現在　　7,694 人）

関係団体補助金

補助金交付団体	補助金（単位:千円）		構成団体数
	令和8年度	令和7年度	
青少年指導センター	170	170	20
青年団体協議会	160	160	—
PTA連合会	180	180	3
町民大学	2,500	2,000	—
文化連盟	350	350	24
体育協会	702	671	17
スポーツ少年団	600	600	11

教 育 費 内 訳

（予算額単位：千円）

科目		予算額	割合（%）	予算額計	割合（%）
教育総務費（総務費）	教育委員会費	2,390	0.3	59,903	7.8
	事務局費	48,994	6.4		
	国際交流費	8,519	1.1		
義務教育学校費	学校管理費	136,512	17.7	196,661	25.5
	教育振興費	60,149	7.8		
学校給食費	学校給食費	119,551	15.5	119,551	15.5
小計		376,115	48.9	376,115	48.9
社会教育費（民生費）	社会教育総務費	37,753	4.9	38,165	5.3
	児童福祉総務費	412	0.1		
	郷土資料保存費	22,498	2.9	22,498	2.9
	文化振興費	188,937	24.5	188,937	24.5
	図書館費	26,828	3.5	26,828	3.5
保健体育費	保健体育総務費	14,916	1.9	117,281	15.2
	体育施設費	102,365	13.3		
小計		393,709	51.1	393,709	51.1
教育費総額		769,824	100.0	769,824	100.0

※割合は端数調整により合計が合わない場合があります。

社会教育施設一覧表

区分	施設名	住所	開館日・開館時間等	電話番号	備　考
教育文化関連施設	文化センターＴＯＭ	中湧別中町3020番地の1	火～日：9:00～22:00 月：9:00～17:00	2-2188	大ホール移動席382席、最大752席
	文化センターさざ波	栄町219番地の1		5-3189	大ホール固定席422席
	上湧別農村環境改善センター	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露畜産研修センター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	ふるさと館ＪＲＹ	北兵村一区588番地	火～日：9:00～16:00 月：休館	2-3000	屯田兵を中心とした郷土資料の展示
	郷土館	栄町155番地の1		5-2229	郷土資料の展示
	中湧別図書館（文化センターＴＯＭ内）	中湧別中町3020番地の1	火～日：10:00～18:00 月・図書整理日：休館	2-3150	
	湧別図書館	栄町219番地の1		5-3122	
体育関連施設	中湧別総合体育館	中湧別南町905番地の2	月：14:00～22:00 火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00	2-4186	
	湧別総合体育館	栄町155番地の1	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	
	武道館	栄町155番地の1			
	上湧別農村環境改善センター多目的ホール	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露ファミリースポーツセンター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	湧別プール	栄町155番地の1	火～土：10:00～21:00 日・祝：10:00～17:00 月：休館 利用期間　５月～１０月	5-2229	
	中湧別野球場(夜間照明付)	中湧別南町905番地	6:00～21:30 利用期間　４月～１１月	2-4186	問い合わせ：中湧別総合体育館
	湧別運動公園（夜間照明付野球場・テニスコート、多目的広場）	東37番地の1	6:00～22:00 利用期間　４月～１１月	5-3189	問い合わせ：文化センターさざ波
	上湧別ソフトボール場（夜間照明付）	上湧別屯田市街地68番地	6:00～21:30 利用期間　４月～１１月	2-4506	問い合わせ： 上湧別農村環境改善センター
	中湧別ゲートボール場	中湧別東町3019番地の1	月：9:00～17:00 火～日・祝：9:00～22:00 利用期間　屋内：通年 屋外：５月～１０月	2-2188	問い合わせ：文化センターＴＯＭ
	湧別屋内ゲートボール場	栄町155番地の6	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	問い合わせ：湧別総合体育館
	五鹿山パークゴルフ場	北兵村二区100番地	日の出～日の入り 利用期間　４月～１１月	2-3111	54ホール
	芭露パークゴルフ場	芭露2334番地の16	日の出～日の入り 利用期間　４月～１１月	6-2138	18ホール
	五鹿山スキー場	北兵村二区100番地	10:00～21:00 利用期間　１月～３月	2-3111	
	芭露スケートリンク	芭露882番地	9:00～21:00 利用期間　12月下旬～2月	5-3132	問い合わせ：社会教育課